



お荘厳された仮阿弥陀堂



御修復のあゆみ

く 伝承された先達の願い く

御本尊が仮阿弥陀堂へ御動座

これまで、御本尊・阿弥陀如来を仮阿弥陀堂へ御動座する準備（先月号にて既報）がすすめられていましたが、このたび二〇一一年十一月二十九日に御本尊動座式が執り行われました。今後、阿弥陀堂の御修復が完了し御本尊が御還座されるまでの期間は、御影堂の内陣の一部（九字之間）に設けられた仮阿弥陀堂において、儀式・お給仕が執り行われます。

なお、御影堂九字之間では、これまで「南無不可思議光如来」の九字名号をお掛けしていましたが、このたびの御動座によって、阿弥陀如来・御本尊



仮阿弥陀堂正面奉掛図

を中心に安置し、宗祖親鸞聖人が「和国（日本の国）の教主」として仰がれた聖徳太子の御影が右側に奉掛されました。また、インドの龍樹大士、天親菩薩、中国の曇鸞和尚、道綽禅師、善導大師、そして日本の源信僧都の六高僧の御影と源空（法然）上人の御影がそれぞれ左側に奉掛されています。